

野沢温泉村への学生派遣プログラム2017 募集要項

1. プログラムの目的

明治大学社会連携機構のもとに設置された地域連携推進センターでは、創業者出身3地域やキャンパス所在自治体を中心に、数多くの自治体とさまざまな連携事業を推進しています。

2014年度から、長野県野沢温泉村において、学生と地域住民との交流・連携及び現地調査・取材を通した「地域活性化への提言」を行う学生派遣プログラムを実施しており、本年度もこのプログラムを実施します。

野沢温泉村からの課題

野沢温泉物語 ～新商品の実現に向けた提案～

野沢温泉村では、2013年度から野沢温泉村のきれいで豊かな水をベースにした商品を開発し、「野沢温泉物語」ブランド商品として村内外に発信しています。現在はお米やお酒、肌水や石けんなどの6商品が認定されています。

昨年度のプログラムでは、「野沢温泉物語の新商品提案」をテーマとして、学部も学年の別々の3チームが、約1週間の現地での調査・取材・グループワークを経て、新商品の発案から「野沢温泉物語」の広報に関することまで、様々な視点からの提案を行いました。

2017年度のプログラムは、明治大学の学生が考えた「野沢温泉物語」の新商品実現に向けて、以下の提案を深化・発展、あるいは新たな観点から、より具体的な提案を行うことを課題とします。

《2016年度各チームの提案》

①外湯めぐりをしながら楽しめる「水まんじゅう」

- ・法学部2年，政治経済学部1年，2年，商学研究科博士前期1年の女性4名のチームが考案。
- ・村のきれいで豊富な「水」とお土産の定番「温泉まんじゅう」を融合させた商品。
- ・村に4店舗ある和菓子屋のそれぞれの特長を生かした商品を提供。
- ・村に13ある外湯（温泉）巡りを楽しみながら、水まんじゅうを食べ歩きできる。

②地域のブランド力向上につながる商品

- ・商学部2年，文学部2年，経営学部3年，情報コミュニケーション学部2年の男性2名，女性2名のチームが考案。
- ・村のきれいで豊富な「水」と村の友好都市の特産品を使ったフルーツかき氷，村で収穫できる「お米」を使った「米粉のシフォンケーキ」や信州の郷土料理である「こねつけ」を手軽に楽しめる商品。
- ・「野沢温泉物語」全体のブランド力向上につながるよう商品パッケージの統一化も提案。

③新商品開発と「野沢温泉物語」の知名度・認知度向上のためのPR戦略

- ・政治経済学部2年，文学部2年2名，農学部2年の男性2名，女性2名のチームが考案。
- ・村の伝統的な食材である「野沢菜」と「根曲り竹」を使った「野沢菜と根曲り竹の炊き込みご飯」や「飲む野沢菜」を考案。
- ・商品開発とは別に、現状の「野沢温泉物語」の広報についても言及し、オリジナルロゴマークや既存商品の試供品提供などに関する提案を行った。
- ・「野沢温泉物語」の推進体制についても言及し、商品開発とPR戦略を組織的に行えるよう「野沢温泉物語推進委員会」の設置を提案した。

「野沢温泉物語」の認知度向上に貢献し、村が実現したくなる提案を目指しましょう

※2016年度の活動概要は本学のホームページをご参照ください。

2016年度野沢温泉村への学生派遣プログラム 実施報告

検索



<http://www.meiji.ac.jp/social/6t5h7p00000nrswq.html>

2. 実施スケジュール

【参加者オリエンテーション・研修】※駿河台キャンパスで実施予定

6月 9日（金）19：30 参加者ガイダンス

講師：岸 栄 野沢温泉村総務課企画財政係 係長ほか本プログラム担当職員

野沢温泉村の紹介と前年度の成果および課題共有・チーム編成など

7月中～下旬 事前研修

地域振興に資する商品の企画やマーケティング等に関する講義

8月中～下旬 出発直前ガイダンス

現地調査の注意事項確認、グループワークなど

【野沢温泉村フィールドワーク日程】

現地事前調査（1泊2日） 6月17日（土）～6月18日（日） 宿泊先＝未定

6月17日（土）

午前 出発（バス）

午後 村内視察，職員との話し合い

夜 グループワーク

6月18日（日）

終日 村内視察

夕方 帰京（バス）

現地調査実施（3泊4日） 9月8日（金）～9月11日（月） 宿泊先＝未定

9月 8日（金）

午前 出発（バス）

午後 取材・調査

夜 現地祭り視察

9月 9日（土）

終日 取材・調査

夜 グループワーク

9月 10日（日）

終日 取材・調査

夜 グループワーク

9月 11日（月）

午前 発表準備

午後 中間発表

夕方 帰京（バス）

【成果報告】

成果報告書等提出 10月16日（月）

・成果報告書（A4判・5ページ以上） ・成果報告会用パワーポイント資料

成果報告発表会 11月 2日（木）に野沢温泉村にて実施 ※明大祭に伴う授業休講日

3. 応募方法

必要事項を記載した参加申込書をEメールで送信してください。応募者が定員を上回った場合、提出書類を総合的に判断し、参加者を決定します。参加者の決定は6月1日にOh-o Meijiで通知します。

申込先	Email : social@meiji.ac.jp
タイトル	野沢温泉村への学生派遣プログラム申込
申込締切	5月26日(金) 17時必着

【募集人数】10名程度

過年度は、ゼミナールでの応募も受け付けましたが、本年度は、個人での応募のみとします。
野沢温泉村をこれまで知らなかった方の募集も歓迎します。

【募集ガイダンス】 ※昼食の持込み可

5月17日(水) 12:40~13:20 駿河台キャンパス リバティタワー 1076教室
5月18日(木) 12:40~13:20 和泉キャンパス 第3校舎 47番教室
5月19日(金) 12:40~13:20 生田キャンパス 中央校舎 0402教室
5月20日(土) 10:50~11:30 中野キャンパス 高層棟 201教室

4. 応募資格

グループ協働作業をメンバーと協力し合いながら、積極的にプログラムに取り組むことのできる方。
未成年者にあつては、参加に対して保護者の同意が得られる方。

※プログラムの途中棄権は、協力してくれる村役場の方にもグループのメンバーにも多大なる影響を及ぼします。参加者は、成果報告会まで責任を持ってやり遂げてください。

5. 参加費用 15,000円

往復の交通費・宿泊費を含みます。昼食費用、現地での移動費、私的費用は含みません。

※一度納入された参加費用は、いかなる理由があつても返金いたしません。

6. 保険 学生教育研究災害傷害保険が適用されます。旅行用傷害保険に加入します。

7. 成果物等について

本プログラムの成果物として提出された報告書の著作権(著作権法27条および28条の権利を含む)は、明治大学社会連携機構に移転するものとします。ただし、明治大学社会連携機構は、著作者自身が当該報告書を利用する場合、特段の事情のない限り、その利用を許諾するものとします。

なお、提出する報告書に、第三者の権利の目的物が含まれる場合(※)、報告書の執筆者の責任においてすべての権利処理を行ってください。

※例:新聞記事を引用の範囲を超えて掲載する場合、他人が撮影した写真を報告書に掲載する場合等

8. 取材・撮影等について

本プログラムについては、大学及び各種報道機関等による取材・撮影が行われる場合があります。プログラムに関する記録については、明治大学社会連携機構等の関係機関の使用(ホームページ及び報告集への掲載等)を妨げないものとします。

【問合せ先】社会連携事務室 (アカデミーコモン11階) TEL : 03-3296-4539 FAX : 03-3296-4541 Email : social@meiji.ac.jp
